

## 第1回 河川堤防植生管理検討委員会 議事概要

日時：平成27年3月25日（水）13:30～15:00

場所：大仙市 仙北ふれあい文化センター

出席者：委員 秋田自然史研究会 幹事 沖田 貞敏

秋田工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 佐藤 悟

秋田県農業試験場 生産環境部 主任研究員 佐山 玲

秋田県立大学 生物資源学部 客員教授 杉山 秀樹

技術指導アドバイザー (株)シビル設計 秋田支店長 菅原 信雄

事務局 東北地方整備局 河川部 河川管理課長 畠山 浩晃

湯沢河川国道事務所 事務所長 平野 明德

湯沢河川国道事務所 副所長 佐藤 徳男

湯沢河川国道事務所 河川管理課長 古関 修 他 河川管理課4名

(敬称略)

(事務局より設立趣意、規約、河川堤防植生の現状を資料により説明)

(事務局より補足説明)

- ・これまでの河川維持管理に係る農薬使用について
- ・堤防弱体化の原因となるイタドリ駆除において、農薬の効率的使用の検証が目的。
- ・昨日(3/24)WHOより発がん性があるとの情報あり。

委員) 今回使用予定のグリホサートは広範囲の雑草に効果が高い。薬剤の選定としては効果的である。薬剤の適用種類、使用方法、回数などが今回のイタドリにあてはまるのか確認が必要である。使い方を全て無視することはできないが、農薬取締法の解釈で使用可能か確認が必要である。

委員) イタドリの堤防に対する影響とはどの程度なのか。薬剤使用以外に方法はないのか。

事務局) イタドリにより河川管理(堤防巡視等)に支障がある。

委員) イタドリが悪影響を及ぼしている割合やどこの部分なのか、全体像を示すべきである。

事務局) 東北地方の日本海側、上流から下流に渡って、全体的に繁茂している。

委員) 今回の対策をしないと増えるのか。この方法以外にないのか。

事務局) 野芝は堤防の強度を保つために植生させているが、イタドリが繁茂することで野芝がなくなり十分な強度が保てない。除草により野芝を維持することは可能だが、限られた予算の中で全て駆除することが困難。

委員) イタドリについての全国的な状況を知りたい。

事務局) 農薬は使用せず、限られた予算内で除草を行っている。農薬使用は、現在、ゴルフ場でも制限されて使用している。西日本では外来種で困っている。

- 事務局) 過去に実施した対策を整理した上で、今後の委員会につなげていきたい。
- 委員) 一般の方に対するメリットを整理したい。イタドリ以外は想定していないのか。堤防の表裏のどちらなのか。
- 事務局) イタドリでもオオイタドリとイタドリを想定している。堤防の表裏両方に繁茂している。
- 事務局) 秋田県内のイタドリの状況を説明。イタドリは餌にも敷き藁にもならず、根は2mにもなり、堤防に悪影響を及ぼすものである。
- 委員) この委員会は、除草剤使用することから始まるのではなく、様々な方法等を検討するところから始まるべきではないか。
- 委員) 効率よく枯らすことより、3/24のWHOから出された発がん性があることについて考えなければならないのではないか。
- 事務局) これから情報を収集して、今後提供していきたい。
- 委員) この薬剤は一般的に使用されるものか。
- 委員) 30年以上使用されている薬剤であり、今回のWHO発表の経緯は不明である。
- 委員) 一般の方に、薬剤使用に至った経緯や調査していることを公表するべき。
- 事務局) 対策後の残留性について、土壌試験も実施して経過を見ていきたい。
- 委員) 残留性の調査は誰がやるのかなど、委員会として行うのはどの部分か。
- 事務局) 次回委員会までに、試験調査内容などを提案・提示する。
- 事務局) 専門的なものを実施するのは困難なので、情報を収集することになる。
- 事務局) 薬剤の基準はないと思われるので、残留性等の調査は前後の比較で実施可能。樹幹注入ではほとんど出てこないのではないか。
- 事務局) 土壌、水質、堤防の状態を使用前後で比較・分析する予定である。
- 委員) 装置からの注入量はどのくらいか。
- 事務局) 正確な量は量っていないため、定量的に検証していきたい。また、効果検証ということで作業面積や方法の比較も検証したい。
- 委員) 「試行方法と現地確認」が5月のスケジュールだが大丈夫か。
- 事務局) 5月末から6月になる可能性がある。
- 委員) グリホサート以外に根まで浸透する薬剤があるかどうか確認してみます。
- 委員) イタドリは総称にしたほうがよいのではないか。
- 委員) 設立趣意について、再度検討した方がよいのではないか。知らない人が見てもわかるものにしてほしい。
- 事務局) 事務局で修正し、提案・提示します。

以上